

home.

Shizuoka Saiseikai Communication Paper

March, 2023

Vol.42



特集

脳血管を守る

3 済生会の検査と治療

脳血管内カテーテル治療

4 DOCTOR'S VOICE

脳神経外科

6 安心・安全な医療の提供

患者さん満足度調査

7 インフォメーション

当院からのお知らせ

脳血管を守る 脳神経外科



命に関わることが多い脳の病気。

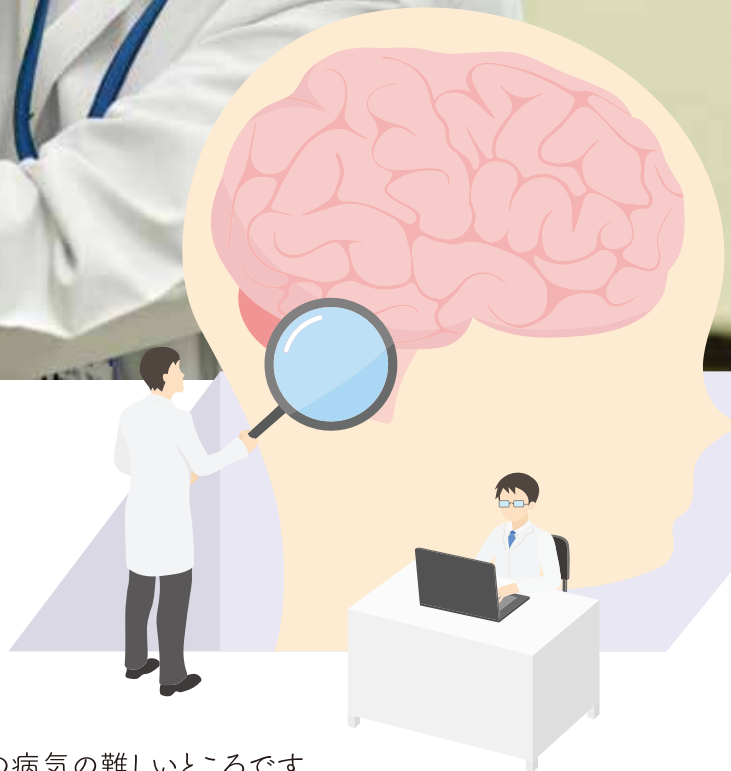
中でも、脳の血管が詰まったり、破れて出血したりして、脳の働きが異常をきたす病気を総称して、脳卒中といいます。

一刻も早い治療を要し、また命をとりとめても

何らかの障害が残ることが多いのが、こうした脳血管の病気の難しいところです。

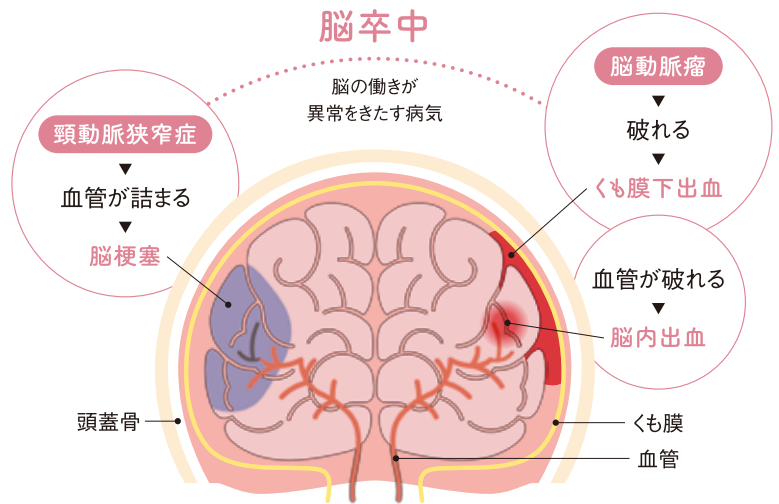
しかしここ最近、脳梗塞や脳動脈瘤は、開頭手術によらずカテーテルを用いた治療ができるようになってきています。

当院の脳神経外科でも、患者さんの命の危機と向き合い、より良い治療に向けてベストを尽くしています。

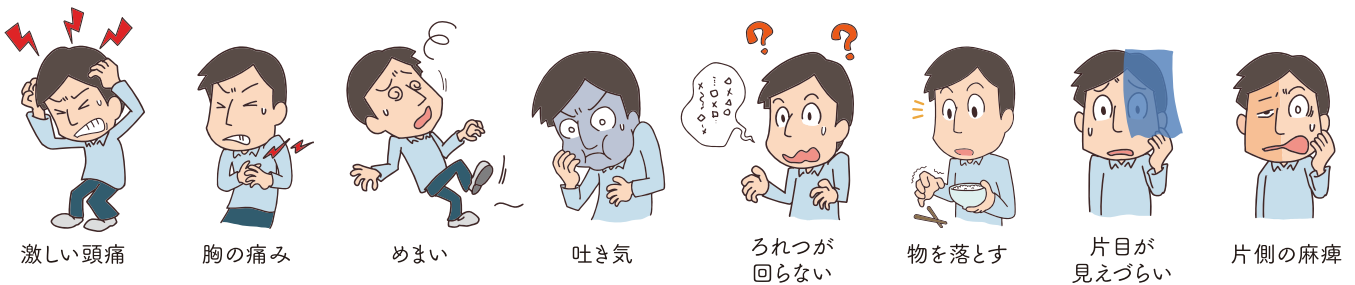


なぜ起こる? どう見つける? 様々な脳血管の病気

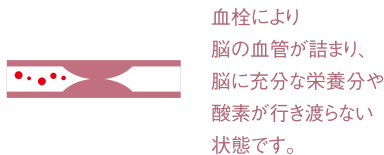
脳血管の病気には様々なものがありますが、いずれも前触れなく突然発症することが少なくありません。突然の激しい頭痛、朝起きたら手や足が麻痺して動かない、ろれつが回らない、意識がもうろうとするといった症状が現れたら、一刻も早く病院へ。発症した患者さんの大半が、昏睡状態で救急搬送されてきます。



脳卒中の代表的な症状



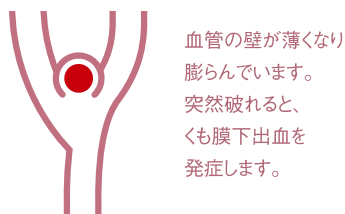
脳梗塞



脳の血管が血栓によって詰まり、血流が途絶える病気です。血栓ができる原因は糖尿病や脂質異常(高コレステロール)といった生活習慣病が圧倒的に多く、いわゆるドロドロ状態の血液や、ポロポロになった血管から生じます。また、不整脈が原因で心臓の中に血栓が生まれ、それが脳に送られて詰まることもあります。心臓でできる血栓は大きくなりがちで、それが脳に飛んで突然重篤な症状を引き起こすことが少なくありません。不整脈の患者さんに血液サラサラにする薬が処方されるのはそのためです。

症状が出る前に「隠れ脳梗塞」を見つけるには脳ドックなどのMRI検査を要します。

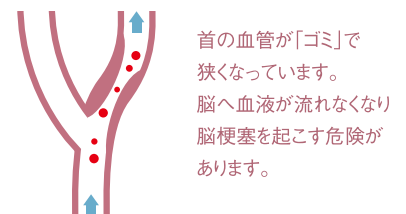
脳動脈瘤



脳内の血管が薄くなった部分が引き伸ばされ、膨らみ始めて、瘤(りゅう)になるのが脳動脈瘤です。さらにこの瘤が膨らんでいて破裂するのが、くも膜下出血です。脳動脈瘤は女性に比較的起こりやすく、高血圧や喫煙などの原因で生じることもあれば、遺伝的な原因によるケースもあります。

脳動脈瘤はMRI検査もしくは造影剤を使ったCTでしか発見することができず、多くの場合は破裂・出血して初めて見つかります。季節的には真冬よりも急に寒くなる季節の変わり目に多いようです。脳ドックなどで、破裂に至っていない動脈瘤が発見できれば、命の危険が及ぶ前に破裂を抑えることが可能です。

頸動脈狭窄症



首の中を通る血管内にコレステロールの塊のような「ゴミ」が付くことで厚くなり、血管内が狭くなっている状態を頸動脈狭窄症といいます。「プラーク」と呼ばれるゴミ成分は首や心臓、脚など太い動脈のあるところに付きやすく、放置しておけばいずれ脳に運ばれて脳梗塞を引き起こす危険があります。

頸動脈狭窄症は男性に多く、偏った食事や喫煙といった生活習慣が大きく影響します。脳梗塞を発症しない限り自覚症状はありませんが、診療所などで頸部エコー検査を行った際に発見されることがあります。

これらの病気から、患者さんの命を守る〈脳血管カテーテル治療〉をご紹介します ▶

当院でも治療開始!

脳血管内カテーテル治療

脳梗塞や脳動脈瘤の治療は従来、開頭手術が一般的でしたが、現在は撮影技術などの進歩によって、カテーテルを用いた脳血管内治療が多く行われるようになってきました。脚の付け根などから脳まで血管にカテーテルを通し、血栓を除去したり血管を広げたりといったさまざまな治療を行うので、次のようなメリットがあります。

メリットをお話します!



メリット 1 脳梗塞に対する緊急治療の場合 一刻も早い処置が可能!

脳血管の病気は、発症したら一刻も早く血流の回復をはかって脳組織のダメージを最小限にとどめる必要があります。カテーテル治療は開頭手術に比べて低侵襲かつ、すぐに治療に取りかかることができます。一般には24時間以内がタイムリミットといわれています。

メリット 2 体に負担が少ないため 早い回復が期待できる!

頭を開かずに済むので患者さんの体に大きな負担をかけることなく、入院期間も開頭手術と比べて短くなります。脳梗塞で意識を失って救急搬送された患者さんがカテーテル治療で劇的に回復し、数日後には自力で歩いて退院できるようになることもあります。

— 脳梗塞 —

脳梗塞の中でも不整脈によって血栓を生じたケースは症状が強く出る傾向があり、緊急性が高いためカテーテル治療が現在の唯一の治療法となっています。脳内を撮影しながらカテーテルを通じて血栓を取り除いていきます。

治療前

写真左上の部分に血栓が詰まっています



治療中

カテーテルを通じて血栓を吸い取っています



治療後

血栓を取り除くと左側の血流が回復しました



— 脳動脈瘤 —

動脈瘤の内部にカテーテルを通じてプラチナ製の「コイル」と呼ばれるものを詰めていきます。異物を留置することによって動脈瘤を血栓で固め、破裂を予防することができます。順調にいけば2~4時間で完了し、数日で退院も可能です。

治療前

中央の塊が動脈瘤です



治療後

瘤内部が完全に固まり画像に黒く写らなくなれば完了です



— 頸動脈狭窄症 —

血管内にコレステロールなどの「ゴミ(プラーク)」が溜まって狭くなった部分にカテーテルを通し、風船で膨らませてから「ステント」と呼ばれる金属の筒を留置します。ステントがゴミを押し付けて血管が狭くなるのを防ぎます。治療は1時間半~2時間ほどで完了します。

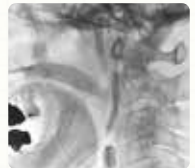
治療前

首の血管の一部が狭くなっています



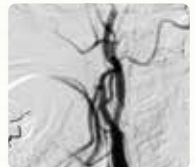
治療中

狭くなった部分を風船で広げています



治療後

ステントにより血流が回復しました



早期発見!
早期治療!

脳ドックを受けましょう (税込60,500円)

基礎疾患をお持ちなど、脳血管の病気が心配な方は、数年に一度の脳ドックの受診をおすすめします。当院の脳ドックでは、頭部MRIなどにより発症前の脳梗塞などの早期発見を目指します。また頸動脈のエコーは頸動脈狭窄症の発見のほか、動脈硬化の評価や治療の判定も可能です。

●実施日▶月~金曜(祝日を除く) ●検査時間▶9:00~14:00(終了時間は状況により異なります) ●予約制▶お電話または窓口でご予約ください。

静岡済生会総合病院健康管理センター TEL.054-280-5031 (受付時間 平日8:30~17:00)



脳神経外科

済生会脳神経外科のカテーテル治療

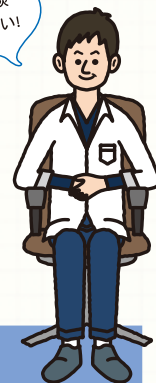
手術の選択肢が増えています。

私たちが皆さまに届けたい声がある

DOCTOR'S VOICE

ドクターズ
ボイス

ご相談
ください!!



Vol.62 脳神経外科

2022年1月、脳血管治療に精通した大多和賢登医師が当院に着任したのを機に、院内の治療設備を拡充し、カテーテルによる脳血管治療を開始しました。

患者さん一人の治療に医師2~3名と看護師、診療放射線技師がチームで当たり、救命救急センターとも連携して緊急性の高い治療に取り組んでいます。

▶最新設備を導入した血管撮影室。
2台の大型カメラで脳を上からも横からも捉えたX線動画が撮影できます。(写真)

脳血管疾患の受入件数 (2022年)	
脳動脈瘤・ くも膜下出血	▶ 50件
脳梗塞	▶ 24件



患者さんに負担の少ない治療を目指します。

1年前に当院に来てまず始めたのは、カテーテル治療の体制を新しく立ち上げることでした。他のドクターやチームスタッフへの情報提供や教育、連携体制づくりまで、最初は1人で苦労しましたが、周囲の皆さんの協力で今は順調に治療に取り組めるようになっていきます。脳梗塞など緊急性の高い病気と向き合う治療法だけに、全スタッフの迅速な対応が求められます。皆で情報共有してチームワークを発揮しています。

私が研修医の頃ははまだカテーテル治療などなく、脳梗塞を起こせば多くの方が寝たきりになってしまうという時代でした。技術や設備機器が着々と進歩して、今ではカテーテル治療が欠かせない治療法の一つになっています。

患者さんに負担が少ない、低侵襲であることがこの治療

法のメリット。脳動脈瘤や頸動脈狭窄症の治療法にはカテーテル治療以外の選択肢もありますので、カテーテル治療を選ぶ以上は、手術による患者さんの負担をより軽減したいと思っています。

DATA

大多和 賢登

Masato Otawa



・脳神経外科医長・日本脳神経外科学会専門医・指導医
・日本脳卒中学会専門医・日本脳神経血管内治療学会専門医

静岡県伊東市出身。愛知県内のいくつかの病院で経験を積み、名古屋大学大学院での臨床研究などを経て、2022年より現職。

～満足度100%をめざして～



患者さん

満足度調査

Customer Satisfaction

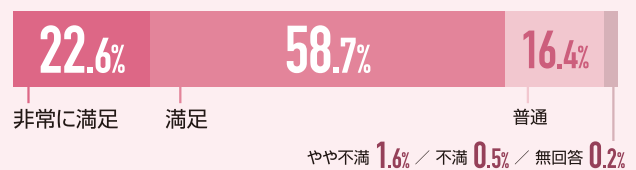
Saiseikai

当院では、さらなるサービスの向上を目指し、毎年患者さん満足度調査を実施しております。
今年度は、2022年10月31日～11月27日に退院された入院患者さん、
2022年11月10日、11日に来院された外来患者さんを対象に満足度調査を実施し、
入院378名、外来811名の方にお答えいただきました。
ご協力いただいた皆さんにはこの場をお借りして、感謝申し上げます。

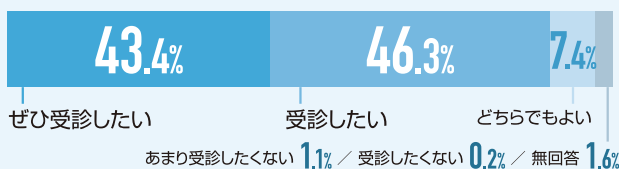
〈入院〉総合満足度

〈外来〉総合満足度

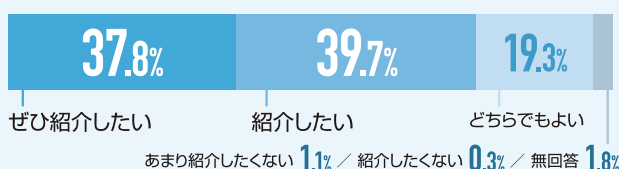
全体として当院に満足していますか？



次回も当院を受診したいですか？



当院を他の方へ紹介したいと思えますか？



〈入院〉満足度



〈外来〉満足度



評価の高かった項目

1 医師は信頼し、安心できる
知識や技術を持っている **91.9**ポイント

2 看護師の言葉遣いや態度 **90.7**ポイント

3 医師の言葉遣いや態度 **90.4**ポイント

1 医師は信頼し、安心できる
知識や技術を持っている **81.8**ポイント

2 看護師は信頼し、安心できる
知識や技術を持っている **81.5**ポイント

3 医師から分かりやすい
説明を受けた **80.4**ポイント

入院外来ともに職員の接遇や高い知識・技術に対して高い評価をいただきました。
今後も知識や技術の向上に努め、コミュニケーションを大切に、患者さんやご家族に寄り添った医療サービスの提供に取り組んでいきたいと思っております。

評価の低かった項目



1 面会の時間帯 **42.6**ポイント

2 病棟の案内表示の
分かりやすさ **59.7**ポイント

3 病棟設備 **65.0**ポイント

1 駐車場の利便性 **27.2**ポイント

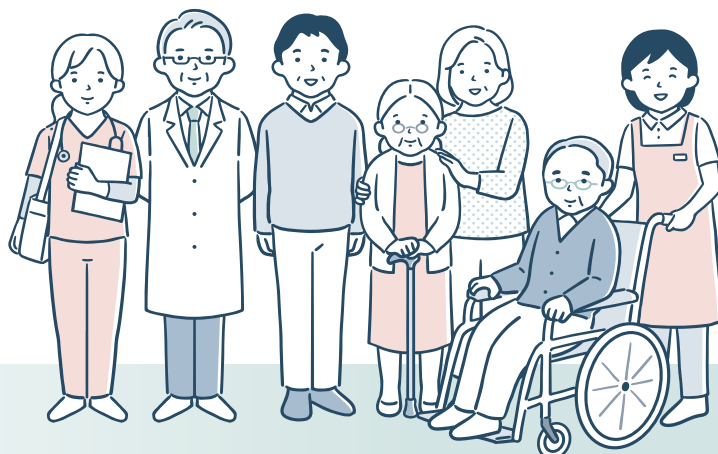
2 情報提供の適切さ **41.6**ポイント

3 診察待ち時間 **42.5**ポイント



入院では面会の時間帯について、外来では駐車場の利便性についての満足度が低く改善を求められていることが分かりました。これらは、日々寄せられる意見からも当院の課題であると捉えております。

本調査を通じ、皆さんからいただいた評価を院内で共有し、職員一同より良い環境づくりに努めてまいります。
来院された際にお気づきの点がございましたら、常設されているご意見箱へご意見をお寄せください。



済生会フェア'22 北澤豪さんらトークショー開催



1月21日に静岡県立大学短期大学部講堂で、済生会の炭谷茂理事長の特別講演と、サッカー元日本代表の北澤豪さんらによるトークショーが行なわれ、約150人が参加しました。

炭谷理事長は「済生会が目指すまちづくり」と題し「貧困層の増大や社会的孤立などが進む中で、済生会は誰もが暮らしやすい社会を目指す“ソーシャルインクルージョン”の理念を実現するために医療や福祉活動を全国で展開して、住民や企業と一緒に“まちづくり”を進めていきたい」と訴えました。

続いてサッカー元日本代表で日本障がい者サッカー連盟の会長を務める北澤豪さん、歌人の田中章義さん、当院血液内科部長の竹内隆浩医師が「スポーツがつなぐ地域の未来」と題しトークショーを行ない、「スポーツは年齢や性別、障害の有無にかかわらず誰でも参加でき、人に希望や勇気を与えることができる。スポーツを通じて全ての人がお互いを認めあえる“インクルーシブ社会”を実現していきたい」などと語り合いました。

読者アンケートのお願い

日頃は、「home」をご愛読いただきありがとうございます。「home」のより良い紙面作りのため、読者アンケートを実施しております。「こんな記事が読みたい」、「病院のこんなことが知りたい!」など率直なご意見をお寄せください。

アンケートにご回答いただいた内容は、今後の紙面づくりに反映いたします。



私達は暖かい思いやりの心で質の良い医療・福祉サービスを実践します

済生会とは？

